

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	卒業制作	
科目基礎情報							
開設学科	音響芸術科		コース名	MAエンジニア専攻		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	180時間
単位数	6単位		授業形態	実習			
教科書/教材	なし						
担当教員情報							
担当教員	榎本、山本、瀧口			実務経験の有無・職種			
学習目的							
この科目は作品制作を行いながら、外部企業や組織との折衝を通して社会人としての基本を身に付けることを第一の目的とする。その上で、過去の例や既存のコンテンツにとらわれることなく、独創性を持った新しいコンテンツの制作を目指し、未来のエンジニアにとって不可欠となるクリエイティブな能力を育むことを目的とする。							
到達目標							
制作の最初である企画立案の段階から最後の卒業制作発表会に至るまですべてを学生自らの手で実現することを目標とする。外部の企業、あるいは公共組織などに自らアプローチをかけ、制作に関わる全ての段取りを経験していく中で社会のシステムを理解し、コミュニケーションを初めとする社会人として必要な知識・技能を身につける。また、授業中のあらゆる場面でプレゼンテーションの機会をつくり、自己表現能力を身につけることも目標とする。							
教育方法等							
授業概要	「自分たちが学んだ知識・技術を使い、誰かの為になるコンテンツを制作する」というテーマを自らの視点でとらえ、企画立案する。これらの作品すべてについてプレゼンテーションを行い制作すべき作品を自ら決定する。決定後にこれらの作品の提案者がスタッフを募りグループでの制作に移行する。						
注意点	外部の企業・組織とのアポイント、打ち合わせ等を教員の力を借りることなく自ら行う。予算についても作品ごとに提示し、プロデュースを担当する教員との会議を経て決定する。外部との折衝や予算の執行に関しては、プロデューサーへの報告を徹底する。新たに必要となるスキルについては、担当教員などに自ら申し出てレクチャーを受けるようにする。遅刻・欠席については厳しく指導し、授業時数の4分の3以上出席しない者については単位を与えない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題						
	小テスト						
	レポート						
	成果発表表 (口頭・実技)	50%	完成された作品の出来栄え評価および各プレゼンテーションに対する評価				
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	企画立案			テーマの提示。個人での企画立案ができる。			
2回	グループプレゼンテーション			幾つかのグループに分かれプレゼンテーションを行い企画を絞り込むことができる。			
3回	最終プレゼンテーション			絞り込まれた企画について更にブラッシュアップを行い、最終的な制作作品を決定できる。			
4回	作品制作1			決定した企画について制作のための準備を行うことができる。（台本・予算書の作成や外部との折衝など）			
5回	作品制作2			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
6回	作品制作3			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
7回	作品制作4			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
8回	作品制作5			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
9回	作品制作6			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
10回	作品制作7			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
11回	作品制作8			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
12回	作品制作9			作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～			
13回	作品制作10			作品制作 ～指定のフォーマットに沿った形での納品～			
14回	卒業制作発表会準備			卒業制作発表会の企画を立案し、準備を行うことができる。			
15回	卒業制作発表会			完成作品を学生同士で、また外部の方々を招待しての発表会を行うことができる。			

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	卒業制作	
科目基礎情報					
開設学科	音響芸術科	コース名	レコーディングエンジニア専攻	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	180時間
単位数	6単位	授業形態	実習		
教科書/教材	なし				
担当教員情報					
担当教員	新保、栃木		実務経験の有無・職種	有・エンジニア	
学習目的					
この科目は作品制作を行いながら、外部企業や組織との折衝を通して社会人としての基本を身に付けることを第一の目的とする。その上で、過去の例や既存のコンテンツにとらわれることなく、独創性を持った新しいコンテンツの制作を目指し、未来のエンジニアにとって不可欠となるクリエイティブな能力を育むことを目的とする。					
到達目標					
制作の最初である企画立案の段階から最後の卒業制作発表会に至るまですべてを学生自らの手で実現することを目標とする。外部の企業、あるいは公共組織などに自らアプローチをかけ、制作に関わる全ての段取りを経験していく中で社会のシステムを理解し、コミュニケーションを初めとする社会人として必要な知識・技能を身につける。また、授業中のあらゆる場面でプレゼンテーションの機会をつくり、自己表現能力を身につけることも目標とする。					
教育方法等					
授業概要	「自分たちが学んだ知識・技術を使い、誰かの為になるコンテンツを制作する」というテーマを自らの視点でとらえ、企画立案する。これらの作品すべてについてプレゼンテーションを行い制作すべき作品を自ら決定する。決定後にこれらの作品の提案者がスタッフを募りグループでの制作に移行する。				
注意点	外部の企業・組織とのアポイント、打ち合わせ等を教員の力を借りることなく自ら行う。予算についても作品ごとに提示し、プロデュースを担当する教員との会議を経て決定する。外部との折衝や予算の執行に関しては、プロデューサーへの報告を徹底する。新たに必要となるスキルについては、担当教員などに自ら申し出てレクチャーを受けるようにする。遅刻・欠席については厳しく指導し、授業時数の4分の3以上出席しない者については単位を与えない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題				
	小テスト				
	レポート				
	成果発表表 （口頭・実技）	50%	完成された作品の出来栄え評価および各プレゼンテーションに対する評価		
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回） 1回（ 12 ）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	企画立案		テーマの提示。個人での企画立案ができる。		
2回	グループプレゼンテーション		幾つかのグループに分かれプレゼンテーションを行い企画を絞り込むことができる。		
3回	最終プレゼンテーション		絞り込まれた企画について更にブラッシュアップを行い、最終的な制作作品を決定できる。		
4回	作品制作1		決定した企画について制作のための準備を行うことができる。（台本・予算書の作成や外部との折衝など）		
5回	作品制作2		作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～		
6回	作品制作3		作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～		
7回	作品制作4		作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～		
8回	作品制作5		作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～		
9回	作品制作6		作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～		
10回	作品制作7		作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～		
11回	作品制作8		作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～		
12回	作品制作9		作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～		
13回	作品制作10		作品制作 ～指定のフォーマットに沿った形での納品～		
14回	卒業制作発表会準備		卒業制作発表会の企画を立案し、準備を行うことができる。		
15回	卒業制作発表会		完成作品を学生同士で、また外部の方々を招待しての発表会を行うことができる。		

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	卒業制作
科目基礎情報					
開設学科	音響芸術科	コース名	ラジオスタッフ専攻	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	180時間
単位数	6単位	開講時間	金曜 3,4時限目	授業形態	実習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	飯村聖美、斉藤りか		実務経験の有無・職種	有・ディレクター	
学習目的					
ラジオ番組制作に必要な不可欠な技術を身に付けることを目的とし、常に自分本位ではない番組制作を意識し、ラジオ以外のメディアへの展開も視野に入れながら、ラジオ放送局の放送基準に基づいた番組制作の実習を行う。特に金曜日はラジオの生放送ワイド番組に適応した技術と知識、番組制作へのアプローチ方法を体得することを目的とし、スタジオ作業だけでなく、街頭インタビューなども行い、外部の意見を通してリスナーの考えや動向に実感を持ちながら番組制作に取り組む。バラエティに富んだコンテンツの制作とともに、リスナーに役立つ情報を提供することも強化。国内外の社会情勢、経済状況、新技術の開発からゴシップ、身の回りの小さな事まで常にアンテナを張り、番組制作に反映すること身につける。必要に応じて校外の取材も敢行。常にフレキシブルに動けるラジオ制作スタッフの素地を作る。					
到達目標					
オリジナルの番組企画の立て方や企画書、台本の制作方法を学び、実際にデジタル・スタジオでの収録や校外を含む取材、実験収録、そして豊富な音源とサンプラーやPro ToolsまたはAuditionを使用した音源編集による素材作りののち、DENON業務用CDプレイヤー、YAMAHAデジタルコンソールO2Rなどを使用したミックス、選曲と音の演出方法など、ラジオ番組を制作する上で必要な力を身につけることを目標とする。特に金曜日はラジオ放送局に求められる情報の正確さと責任、コンテンツの強さを意識した番組制作をするために、情報収集・リサーチ、取り分け、街頭インタビューや専門家など、特定の人へのインタビューの仕方や録音技術のノウハウを身につけ、短時間で音源を編集し、番組として具現化できることを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	企画した番組のコンセプトや選定したテーマにそった取材をし、Pro ToolsまたはAuditionなどの音源編集ソフトを使って巧みに編集して、短時間に番組素材をつくり、模擬番組を制作していく。またミュージックアーティスト専攻の学生の番組への参加や当学園における119の専門分野を取材・紹介することでコラボレーション型の実習を行う。				
注意点	この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応し、理由のない遅刻や欠席は認めない。またディレクター、構成作家、AD、ミキサーなどそれぞれが専門的な作業を担うため、各準備には責任が求められる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験	20%	試験と課題を総合的に評価する		
	校外実習	20%	校外の実習で行われる実技について評価する		
	提出物	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回） 1回（ 4 ）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	企画立案		テーマの提示。個人での企画立案ができる。		
2回	構成を決め、台本制作①		打合せで演出を踏まえた構成を決め、パソコンで台本の枠組みを制作する。		
3回	番組コンセプトの考案		当学園の他専攻より出演者を招く番組のコンセプトを考案し、番組展開を提案できる。		
4回	台本制作②+選曲会議		パソコンで具体的な内容の台本を制作する。		
5回	グループプレゼンテーション		幾つかのグループに分かれプレゼンテーションを行い企画を絞り込むことができる。		
6回	構成と台本制作		番組の時間枠を有効に使うために音楽やトークの展開を考え構成し台本を書く事ができる。		
7回	最終プレゼンテーション		絞り込まれた企画について更にブラッシュアップを行い、最終的な制作作品を決定できる。		
8回	取材・収録リハーサル		疑似取材や疑似収録でリハーサルを行い、本番に備える		
9回	番組企画のコンペティション		番組企画のコンペティションに参加しプレゼンテーション能力を高める。		
10回	作品制作 1		決定した企画について制作のための準備を行うことができる。（台本・予算書の作成や外部との折衝など）		
11回	出演者を迎えて取材・収録		録音機材を選出し、実際に取材・収録をする。バックアップの習慣も身につける。		
12回	事前取材の内容を考案		番組化するために必要な要素をリスト化し、出演依頼書の制作や事前取材の用意ができる。		
13回	作品制作 2		作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～		
14回	ナレーション音源編集①		番組の尺に合わせて収録した音源をPro ToolsまたはAuditionなどで編集する。		
15回	番組ナレーション収録		出演者を招いてスタジオで収録ができる。		

授業計画（16回～30回） 1回（ 4 ）時間 ※45分を1時間とする		
回	授業内容	各回の到達目標
16回	作品制作3	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
17回	ナレーション音源編集②	番組の演出に合わせて編集した音源をPro ToolsまたはAuditionなどで微調整の編集をする。
18回	番組サウンド・ステッカー制作	番組のコンセプトに合ったサウンド・ステッカーを制作し、コンペティションに参加できる。
19回	作品制作4	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
20回	サウンド・ステッカー制作	番組のカラーや意図が明確に表れるよう、楽曲や効果音を選びPCまたはミキサー卓を使って制作。
21回	音源編集と発表	番組のコンセプトや演出に合わせ、収録したナレーション音源を編集できる。
22回	作品制作5	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
23回	完パケ＋試聴会	収録音源、CD音源、サウンドステッカー等を演出にそって編集し2 mixに完パケする。
24回	選曲	番組コンセプトにそった選曲をし、楽曲の構成を理解した上でその魅力を存分に伝える事ができる。
25回	作品制作6	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
26回	ラジオドラマ制作①	台本読み合わせ、必要な効果音の収録方法の案を出し、見直し作成をする。
27回	模擬番組の実演①	25分の生放送を想定した模擬番組を制作し、Qシートを制作できる。
28回	作品制作7	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
29回	ラジオドラマ制作②	台本に沿った演出を考え、効果音（または俳優の台詞）を収録する。
30回	模擬番組の実演②	25分の生放送を想定した模擬番組を、演出を加えて制作し、Qシートを制作できる。

授業計画（31回～45回） 1回（ 4 ）時間 ※45分を1時間とする		
回	授業内容	各回の到達目標
3 1 回	作品制作 8	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
3 2 回	ラジオドラマ制作③	台本に沿った演出を考え、俳優の台詞（または効果音）を収録する。
3 3 回	ゲスト収録	事前に一人につき一ゲストのブッキングしておき、複数のゲストの収録ができる。
3 4 回	作品制作 9	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～
3 5 回	ラジオドラマ制作④	効果音の編集をする。
3 6 回	音源編集と発表	番組のコンセプトや演出に合わせ、一人につきゲスト一人分の収録した音源を編集できる。
3 7 回	作品制作 1 0	作品制作 ～指定のフォーマットに沿った形での納品～
3 8 回	ラジオドラマ制作⑤	台詞の編集をする。
3 9 回	番組フォーマット決め	番組フォーマットを提案できる。
4 0 回	卒業制作発表会準備	卒業制作発表会の企画を立案し、準備を行うことができる。
4 1 回	ラジオドラマ制作⑥	演出にそってPro ToolsまたはAuditionなどで収録音源、CD音源等を 2 mixに編集し完パケする。
4 2 回	模擬番組の実演③	複数のゲストが出演する模擬番組の制作ができる。
4 3 回	まとめ 試聴会	これまでのまとめと作品の試聴会
4 4 回	まとめ	模擬番組を視聴し、今後の課題を見つける
4 5 回	卒業制作発表会	完成作品を学生同士で、また外部の方々を招待しての発表会を行うことができる。